

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年4月17日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週				
	12週	13週	14週	15週	
	3月16日～3月22日	3月23日～3月29日	3月30日～4月5日	4月6日～4月12日	
急性呼吸器感染症(ARI)	422	481	457	422	
	84.40	96.20	91.40	84.40	
	32	30	32	18	
インフルエンザ*	6.40	6.00	6.40	3.60	
新型コロナウイルス感染症*	9	14	20	10	
	1.80	2.80	4.00	2.00	
小児科定点	RSウイルス感染症*				
	咽頭結膜熱*	1	6	2	2
	0.33	2.00	0.67	0.67	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	5	4	9	8
	1.67	1.33	3.00	2.67	
	感染性胃腸炎	5	11	25	9
	1.67	3.67	8.33	3.00	
	水痘			2	
	0.67				
	手足口病				
伝染性紅斑					
突発性発しん			3	2	
1.00			0.67		
ヘルパンギーナ*					
流行性耳下腺炎			1		
0.33					
眼科定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎				
	無菌性髄膜炎				
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)				
	川崎病				
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間ににおける対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	○	—
備考	感染性胃腸炎	新型コロナウイルス感染症	

【医療機関の皆様へ】

・感染症法に基づく、医師の届出に必要なアカウントの発行及びシステムのログインはこちら



3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- ・2類:潜在性結核感染症 男性1名

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- ・感染性胃腸炎の患者報告数が前週より減少した一方、栗原管内では集団発生の報告がありました。原因病原体となるノロウイルス等の消毒は次亜塩素酸ナトリウムが有効です。吐物処理時の消毒は、吐物を起点に半径2m行ってください。便器やトイレ床の消毒も重要です。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- ・保育施設で感染性胃腸炎の集団発生がありました。

- ・保健所では、御希望の施設に職員を派遣して、研修会を実施しています。
- ・研修会では、講話の他、吐物処理やPPEの着脱、手洗い等の演習も実施可能です。
- ・御希望があれば、右記番号まで御連絡ください。

【感染症コラム～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～】

- ・A群β溶血性レンサ球菌によって引き起こされる感染症で、冬と春から初夏の2つの時期に流行があります。
- ・どの年齢でも発症しますが、学童期の小児に最も多くみられます。
- ・2～5日間の潜伏期間を経て、発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、全身の細かい赤い発疹や莓舌を呈する猩紅熱に発展する場合があります。
- ・リウマチ熱や急性糸球体腎炎を合併する場合があります。稀に、急速に多臓器不全へ進行する劇症型溶血性レンサ球菌感染症を起こすこともあります。
- ・本菌による咽頭炎の治療は抗菌薬になります。処方した医師の指示通りに内服しましょう。
- ・主な感染経路は飛沫・接触感染です。接触の機会が増加すればするほど感染が広がりやすいため、家庭・学校・保育施設等の集団感染が多い傾向にあります。
- ・予防としては、患者との濃厚接触を避けることが最も重要です。うがい、手洗いなどの一般的な予防に努めましょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594